

2 水質汚濁調査結果

1) 調査項目

調査項目は、生活環境項目等とした。

2) 調査時期

調査は1回/年とし、調査の時期は冬季とした。

調査の日程は、以下に示すとおりである。

令和2年1月22日（水） 天候：曇り

3) 調査地点

調査地点は、調整池出口及び鞍居川流入部の2地点で実施した。

4) 調査方法

水質の調査方法は、下記の表に示すとおりとした。

調査方法

項目		調査方法
一般項目	気温	JIS K 0102 7.1
	水温	JIS K 0102 7.2
	流量	JIS K 0094
水の汚れ 生活環境項目等	水素イオン濃度	JIS K 0102 12.1
	生物学的酸素要求量(BOD)	JIS K 0102 21 及び 32.3
	浮遊物質 (SS)	環告第59号付表9
	溶存酸素量 (DO)	JIS K 0102 32.1
	大腸菌群数	環告第59号別表2 1.(4)備考4
	化学的酸素要求量 (COD)	JIS K 0102 17
	総窒素	JIS K 0102 45.2
	総りん	JIS K 0102 46.3
透視度	JIS K 0102 9	

5) 調査結果

調査結果及び環境保全目標との比較を以下の表に示す。

調査結果は、参考とした環境基準(A類型)を全ての地点で満足しており、アセス調査時、供用開始前及び供用開始1年目から6年目（鞍居川流入部については千種川改良工事の影響が見られた供用開始3年目夏季までを除く）の調査結果と概ね同程度の結果であり、大きな変化はないものと考えられた。また、2地点ともに全ての項目で環境保全目標を満足していた。

河川水質調査結果（調整池）

項目		単位	調整池			環境基準（A 類型） 参考
一般項目	試料採取時期	—	供用開始前	供用開始 1 年目～6 年目	供用開始 7 年目	—
	試料採取日	—	H24. 10. 3	H25. 7～H31. 2	R2. 1. 22	—
	天候	—	晴れ	晴れまたは曇り	曇り	—
	気温	℃	25. 0	4. 5～35. 5	3. 2	—
	水温	℃	24. 8	7. 2～30. 5	7. 5	—
	流量	m ³ /sec	—	0. 0016～0. 0054	0. 0011	—
水の汚 れ	生活環境項目等					
	水素イオン濃度	pH	8. 0 (22. 0℃)	7. 1～7. 8	7. 7 (19. 8℃)	6. 5 以上 8. 5 以下
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	1. 6	1. 3～1. 7	1. 2	2mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	mg/L	7	<1～5	<1	25mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	mg/L	7. 9	7. 7～9. 5	9. 9	7. 5mg/L 以上
	大腸菌群数	MPN/100mL	1, 700	170～4, 600	350	1, 000MPN/100mL 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	3. 8	2. 2～3. 8	2. 3	—
	総窒素	mg/L	0. 54	0. 45～0. 60	0. 46	—
総りん	mg/L	0. 018	0. 007～0. 025	0. 008	—	
透視度	度	43	>50	>50	—	

注：1) 供用開始 1 年目～3 年目は 2 回/年の頻度で全ての項目を、4 年目～6 年目は 1 回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等及びダイオキシン類を調査した。
2) 供用開始 7 年目は 1 回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等を調査した。

河川水質調査結果（鞍居川流入部）

項目		単位	鞍居川流入部				環境基準（A 類型） 参考
一般項目	試料採取時期	—	アセス調査時	供用開始前	供用開始 1 年目～6 年 目	供用開始 7 年目	—
	試料採取日	—	H14. 10～H15. 8	H24. 10. 3	H25. 7～H31. 2	R2. 1. 22	—
	天候	—	—	晴れ	晴れまたは曇り	曇り	—
	気温	℃	—	23. 8	3. 7～35. 0	3. 6	—
	水温	℃	—	21. 5	5. 3～29. 0	4. 7	—
	流量	m ³ /sec	—	0. 062	0. 023～0. 048	0. 0085	—
水の汚 れ	生活環境項目等						
	水素イオン濃度	pH	7. 6～8. 0	7. 9 (22. 2℃)	7. 5～8. 1	8. 2 (19. 5℃)	6. 5 以上 8. 5 以下
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	<0. 5	1. 0	0. 9～1. 5	1. 0	2mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	mg/L	<1～3	3	<1～8	<1	25mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	mg/L	7. 6～13	8. 1	8. 0～12	13	7. 5mg/L 以上
	大腸菌群数	MPN/100mL	140～17, 000	940	110～4, 900	920	1, 000MPN/100mL 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	2. 1～3. 6	2. 4	2. 0～4. 0	1. 9	—
	総窒素	mg/L	0. 20～0. 67	0. 40	0. 25～0. 57	0. 31	—
総りん	mg/L	0. 012～0. 024	0. 015	0. 006～0. 024	0. 006	—	
透視度	度	>50	>50	39～>50	>50	—	

注：1) 供用開始 1 年目～3 年目は 2 回/年の頻度で全ての項目を、4 年目～6 年目は 1 回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等及びダイオキシン類を調査した。
2) 供用開始 7 年目は 1 回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等を調査した。

調査結果と予測結果及び環境保全目標の比較

項目	単位	調査結果		環境保全目標
		調整池	鞍居川流入部	
BOD	mg/L	1. 2	1. 0	2 mg/L 以下
COD		2. 3	1. 9	6 mg/L 以下
T-N		0. 46	0. 31	1 mg/L 以下